

## 【草花の部屋】

### ミツバ (セリ科ミツバ属 *Cryptotaenia japonica*)

**和名** : ミツバ(三つ葉)、ミツバゼリ(三つ葉芹) **別名** :

**英名** : Japanese parsley、mitsuba

セリ目 多年草 **原産地** : 日本

**花言葉** : 意地っ張り、奔放

**花色** : 白



← 写真-1 ミツバ

撮影日 : 2021年4月10日

撮影場所 : 大和郡山市郊外にて

撮影者 : M さん

↓ 写真-2 ミツバの葉

撮影日 : 2021年4月10日

撮影場所 : 大和郡山市郊外にて

撮影者 : M さん



← 写真-3 ミツバの花序

撮影日 : 2021年7月10日

撮影場所 : 大和郡山市郊外にて

撮影者 : M さん



→ 写真-4 ミツバの花

撮影日：2021年7月10日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



大和郡山市郊外の個人宅のプランターに植えられていました。食用として栽培され、よく口にする植物です。葉を見る機会が多い植物ですが、花はジックリと観賞した記憶はありません。それもそのはず、直径1mmほどの小さな白い花。注意しないとなかなか見つけられない花です。

日本原産の野菜のひとつで、江戸時代に栽培が始まったそうです。今日では主にハウス水耕栽培したものが周年出荷されており、茎と葉が食用とされ、さわやかな香りが特徴の香味野菜です。β-カロテンを多く含む緑黄色野菜であり、山菜としては春から初夏が旬です。

ミツバは、日本料理に欠かせない上品な香りの野菜で、1本の茎に3枚の葉がつくことからこの名がつきました。半日陰でもよく育つので、日照条件の悪い場所でも栽培できるそうです。摘みたての葉は香りもよく、吸い物に浮かべるだけでなく、おひたしやあえ物、サラダなど幅広く利用できます。

北海道から沖縄までの日本各地や中国など東アジアに広く分布し、山地の日陰に自生する多年草で、高さ30~90cmほどになります。葉は互生する3出複葉で、小葉は卵形、表裏とも光沢があり、葉の縁には重鋸歯があります。花は枝先の複散形花序につき、小さな白色の5弁花です。